

街道400年

中山道

散策マップ



戸田渡船場

蕨宿

浦和宿

大宮宿



埼玉きっての繁華な 歴史が香る名所をた

荒川を渡り、埼玉の中山道の玄関口となる戸田が、徳川氏の本拠地だった蕨宿、大きな規模の本陣で明治時代の浦和宿、氷川神社の門前町や市場町として現存している大宮宿など、往時のにぎわいに触れたい。



木曾街道 蕨之駅 戸田川渡場

溪斎英泉画。荒川をはさんで対岸が戸田。旅商人らは船で川を渡った。

中山道

中山道 歩けるルート

推定ルート

①

●

⑦

※中山道のルートは時代により変わっています。ここでのルートは推定ルートです。
※掲載の地図は市町村発行の1/1万を使用（さいたま市1/2万、東

区間でとどる

から名門・波川
天皇も行幸し
在の繁栄を築



板橋区

東京都 埼玉県

中山道まめ知識

戸田は埼玉・中山道の玄関口 荒川には4代にわたる橋が

戸田は中山道の埼玉県の入り口。江戸時代は荒川を渡し舟で渡っていたが、明治8年(1875)に最初の本橋が、大正元年(1912)に2代目の木橋土橋、昭和7年(1932)に3代目の鉄橋、そして現在は4代目の鉄橋がかかる。

宿場町としての 地名の由来

蕨は中山道の宿場町として栄え、大正時代に開港場を誘った。現在でも大規模な工場や倉庫などがある。大正時代に開港場を誘った。現在でも大規模な工場や倉庫などがある。大正時代に開港場を誘った。現在でも大規模な工場や倉庫などがある。



3 じぞどう 地蔵堂

戸田市川岸1丁目

水神社から中山道を行くとすぐ右手方向にある。戸田市内では最古の木造建造物とされ、また境内には古い石造物も残されている。



2 ずいじんしゃ 水神社

戸田市川岸1丁目

付近の人々の氏神的な存在で、古くは荒川端にあった。境内には「水神宮・船玉大明神」と彫られた、舟型の石が置かれている。



1 とだとせんばあとひ 戸田渡船場跡碑

戸田市川岸1丁目

板橋宿と蕨宿の間を流れる荒川にあった渡船場。旧下戸田村により運営されていたが明治8年(1875)に橋が完成し、渡しは廃止された。



4 しもだみにぱーく 下戸田ミニパーク

戸田市下戸田2丁目

中山道の道筋が脇を通るこの公園では、「歴史のみち中山道」の案内板や石のオブジェなどもあり市民の憩いの場。

- 見どころ
- 名所・旧跡
- 国道
- バス停
- 主要交差点

は江戸時代末期のものをして示しています。
東京都1/2500

・中山道まめ知識

て知られる蕨もユニーク

の宿場町として隆盛
も毎年秋に宿場祭
名行列などを華やか
地名の由来は、蕨を
から“蕨火村”とし
たは植物名からとっ
り説も。



蕨宿場まつり

昭和58年にはじまり、毎年11月3日・文化の日に行われる。大名行列やサンパレード、フリーマーケットなどが催され、蕨の秋の風物詩となっている。



10 戸田市郷土博物館

とだしきょうどはくぶつかん
戸田市新館
古代から中世、江戸時代から現代に至る、荒川と深く関わる人々の暮らしぶりを紹介。遺跡の出土品や戸田渡船場の模型などを展示。



6 蕨市立歴史民俗資料館

わらびしりつれきしみんぞくしりょうかん
蕨市中央5丁目
館内には実物大の旅籠屋・商家・本陣上段の間を復元。1/200の町並みの模型も。江戸時代の蕨宿の姿が展示されている。



7 蕨宿本陣跡

わらびしりつれきしみんぞくしりょうかん
蕨市中央5丁目
歴史民俗資料館隣。江戸時代、中山道では江戸から2番目の宿駅であった。本陣は、大名や公家、幕府役人らも宿泊した由緒ある施設。



8 蕨城跡 [和楽備(わらび)神社]

わらびじょうあと
蕨市中央4丁目
蕨城は室町から戦国時代にかけて足利一門の渋川氏が館を構え、北条氏が支配した。明治40年(1911)に蕨八幡をはじめ、周辺18社が合祀されて和楽備神社になった。



5 蕨宿碑

わらびしりつれきしみんぞくしりょうかん
蕨市中央5丁目
蕨市に入って間もなく見えてくる石碑で、「中山道蕨宿」と刻みどっしりとした趣がある。往時の宿場を彷彿とさせる風景も見られる。

蕨宿

日本橋からの距離
4里28町(約19km)
家数：430軒
人口：2223人
本陣：2軒
脇本陣：1軒
旅籠屋：23軒



9 三学院

さんがいん
蕨市北町3丁目
正式名は金亀山極楽尊の「十一面観音菩薩」の作と伝えられていて、造十三仏座像など



中山道まめ知識

蕨、板橋、鴻巣・・・
大規模な宿場は11のみ

中山道宿村大概帳によれば、中山道で2000人規模以上の宿場は関東では蕨、板橋、鴻巣、熊谷、本庄、高崎の6宿のみ。その先は草津と5宿で合計11宿。この半分以上埼玉にあることから、蕨～本庄のにぎわいが想像できよう。



11 つじいちりづかこうえん
辻一里塚公園【一里塚跡碑】
さいたま市南区辻7丁目
東京外環の手前に位置し、一里塚跡の石碑が建つ。当時辻周辺は湿地帯が多く、通行が困難であったので、水難除けに弁財天も祀られた。

熊野神社
【辻稲荷】

12 六辻水辺公園

さいたま市



12 くまのじんじや
熊野神社【辻稲荷】
さいたま市南区辻2丁目
左手に見えてくる小社。木曾名所図会に「辻村に熊野権現のやしろあり」とうたわれていることでも知られる。少し先には六辻水辺公園が。

中山道まめ知識

宿場の名残をとどめる
蕨の町並み保存

蕨宿本陣跡や脇本陣跡、歴史民俗資料館などが並ぶ約1kmほどの区間は、町並み保存と環境整備がよくなされている。古い家が建ち、またマンホールや下水溝のふたにも意匠がほどこされており、町歩きもひととき楽しい。



寺三学院。本陣跡は平安中... また「木曾も名高い。」



五街道とは

五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅客、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路のもつ役割や変遷などを確認しながら、今後のより豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

(写真は五街道の起点・日本橋に設置された「道路元標」)



中山道とは

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿69次、全長約135里(約530km)。埼玉県では、戸田から本庄の勅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里(約75km)の道程です。



「中山道散策マップ」は、中山道にゆかりのある名所・旧跡や見どころなどを広く紹介し、その魅力をあますところなく伝えようとするものです。地図やカラー写真を満載し、実際のウォーキングが楽しめるように構成しました。400年の時代の流れとともに、古きよき時代の中山道の面影に触れることができるでしょう。



国土交通省大宮国道事務所

〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435
TEL 048(669)1205
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

平成15年10月初版
平成19年3月改訂
※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵